



その先の、道へ。北海道
Hokkaido, Expanding Horizons.

平成 30 年度
**北海道原子力防災訓練
実施結果報告書（案）**

平成 3 1 年 3 月

北海道・泊村・共和町・岩内町・神恵内村・
寿都町・蘭越町・二セコ町・倶知安町・
積丹町・古平町・仁木町・余市町・赤井川村

はじめに

北海道原子力防災訓練は、北海道防災会議が策定した「北海道地域防災計画（原子力防災計画編）」、泊村、共和町、岩内町、神恵内村で組織する泊発電所原子力防災会議協議会が策定した「泊発電所周辺地域原子力防災計画」及び寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村が策定した「地域防災計画（原子力防災計画編）」、「泊地域の緊急時対応（国、道及び関係町村の原子力災害対策を一体的に取りまとめたもの）」に基づき、住民避難訓練や災害対策本部の設置運営訓練などを組み合わせて総合的に実施する訓練（以下、「総合訓練」という。）や、要素ごとに実施する訓練（以下、「要素訓練」という。）により構成され、昭和63年度以降、毎年度実施している。

今年度の総合訓練は、10月に台風との複合災害を想定し、意思決定訓練と実動訓練を連動させ、1日間の日程で実施した。意思決定訓練では、オフサイトセンターに国や道などの防災関係機関の要員が参集し、複合災害時における住民の防護措置の実施方針の調整手順を確認した。実動訓練では、この実施方針に基づき、PAZとUPZの区分に応じた段階的な住民避難に加え、孤立集落を想定した陸路・海路・空路を用いた住民避難を実施したほか、台風被害に伴う避難所の開設・運営や、外国人観光客の宿泊施設からの避難誘導、避難退域時検査などの原子力災害医療活動訓練に取り組んだ。

さらには、2月に冬季要素訓練として、初動対応の確認や様々な事態に即応できる要員の対応能力の向上を図るため、ブラインド方式による意思決定訓練を実施した。

また、要素訓練では、関係町村・関係機関に設置されている「原子力防災ネットワーク専用回線」を使用した通信連絡訓練や緊急時環境放射線モニタリング訓練などを通じて防災業務関係者の技術向上に取り組んだ。

本報告書は、訓練の記録として取りまとめたほか、訓練終了後に関係機関等に行った事後調査等を基に得られた課題等を整理し、次年度以降の訓練に資するものである。



目 次

第1 総合訓練

1	目 的	1
2	実施日時	1
3	主 催	1
4	場 所	1
5	対象施設	1
6	参加・協力機関	1
7	訓練想定	5
8	訓練内容	7
9	訓練の流れ	14
10	訓練イベント時刻	15
11	住民避難訓練整理表	17
12	訓練実施場所図	18
13	事前準備・結果報告等	19

第2 冬季要素訓練

1	目 的	21
2	実施日時	21
3	主 催	21
4	場 所	21
5	対象施設	21
6	参加・協力機関	21
7	訓練想定	21
8	訓練内容	21
9	訓練の流れ	25

第3 課題等整理表（関係機関等事後調査結果）

26

第4 要素訓練

1	通信連絡訓練	37
2	原子力災害対策本部及びオフサイトセンター訓練（図上演習）	37
3	緊急時環境放射線モニタリング講習会	38
4	原子力災害医療研修会	38
5	その他研修	39
6	地域学習会	39

<参 考>

■ 北海道原子力防災訓練の実施状況（昭和63年度～平成30年度）	43
■ 訓練参加住民アンケート調査結果	56
■ 平成30年度北海道原子力防災訓練リーフレット	61
■ 泊地域の緊急時対応（概要版）	63
■ 緊急時における防護措置の概要	69

第1 総合訓練

1 目的

防災関係機関が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関の連携、防災業務関係者の防災技術の向上を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚や、防災対策に関する理解促進を図る。

2 実施日時

平成30年10月22日(月) 9:00~15:30

3 主催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村

4 場所 [実動訓練場所]

泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村、黒松内町、留寿都村、小樽市、洞爺湖町、札幌市、登別市

5 対象施設

北海道電力株式会社 泊発電所(3号機)

6 参加・協力機関

防災関係機関等 390機関(防災業務関係者 3,365人)

(1) 北海道警察 … <1>

(警察本部、函館方面本部、札幌方面岩内警察署、札幌方面余市警察署、札幌方面倶知安警察署、札幌方面南警察署、札幌方面白石警察署、札幌方面手稲警察署、札幌方面伊達警察署、函館方面寿都警察署、情報通信部)

(2) 北海道教育委員会 … <1>

(北海道教育庁、後志教育局)

(3) 市町村 … <23>

札幌市、小樽市、島牧村、黒松内町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、千歳市、北広島市、江別市、洞爺湖町、豊浦町、伊達市、室蘭市、苫小牧市、登別市、壮瞥町、白老町、むかわ町、安平町、厚真町、長万部町

(4) 消防機関 … <3>

岩内・寿都地方消防組合(消防本部、岩内消防署、泊支署、共和支署、神恵内支署、寿都支署)
北後志消防組合(消防本部、余市消防署、古平支署、積丹支署、仁木支署、赤井川支署)
羊蹄山ろく消防組合(消防本部、倶知安消防署、蘭越支署、二セコ支署)

(5) 関係省庁 … <3>

原子力規制委員会原子力規制庁、泊原子力規制事務所、内閣府

(6) 指定地方行政機関 … <7>

北海道総合通信局、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局、気象庁札幌管区气象台、海上保安庁第一管区海上保安本部、環境省北海道地方環境事務所

(7) 自衛隊 … <3>

陸上自衛隊北部方面隊、海上自衛隊大湊地方隊、航空自衛隊北部航空方面隊

(8) 指定公共機関 … <4>

(国研) 日本原子力研究開発機構、(株) NTTドコモ北海道支社、KDDI (株) 北海道総支社、ソフトバンク (株)

(9) 指定地方公共機関 … <5>

(一社) 北海道薬剤師会、(公社)北海道トラック協会、(一社)北海道バス協会、(一社)北海道建設業協会、(一社)北海道警備業協会

(10) 公共的団体等 … <8>

古宇郡漁業協同組合、岩内郡漁業協同組合、寿都町漁業協同組合、東しゃこたん漁業協同組合、余市郡漁業協同組合、きょうわ農業協同組合、余市町農業協同組合、新おたる農業協同組合

(11) 協力企業等 … <7>

東芝ITサービス(株)、小樽建設協会、(一社)札幌地区トラック協会、(株)日立製作所ヘルスケア札幌第一営業所、イオン北海道(株)、パナソニックシステムソリューションズ ジャパン(株)、北陽警備保障(株)

(12) 原子力事業者 … <1>

北海道電力(株)(本店、泊発電所)

(13) 医療機関 … <12>

北海道大学病院、旭川医科大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川赤十字病院、伊達赤十字病院、(一社)北海道放射線技師会、北海道社会事業協会岩内病院、小樽市立病院、北海道社会事業協会余市病院、弘前大学、JA北海道厚生連倶知安厚生病院

(14) 学校・幼稚園・児童福祉施設 … <107>

【泊村】泊村立泊小学校、泊村立泊中学校、とまり保育所【共和町】共和町立南幼稚園、共和町立中央保育所、共和町立北幼稚園、共和町立へき地保育所、共和町立東陽小学校、共和町立北辰小学校、共和町立西陵小学校、共和町立共和中学校、北海道共和高等学校【岩内町】高田幼稚園、岩内幼稚園、岩内町立岩内東小学校、岩内町立岩内西小学校、岩内町立岩内第一中学校、岩内町立岩内第二中学校、北海道岩内高等学校、岩内町東山保育所、岩内町中央保育所、岩内町西保育所、岩内厚生園、児童デイサービスチャレンジキッズどんぐり、ファミリーホームろっく、【神恵内村】神恵内村立神恵内小学校、神恵内村立神恵内中学校、神恵内村立神恵内保育所、【寿都町】寿都町立寿都小学校、寿都町立潮路小学校、寿都町立寿都中学校、北海道寿都高等学校、寿都保育園、歌棄洗心学園、【蘭越町】蘭越ひばり幼稚園、蘭越町立蘭越小学校、蘭越町立昆布小学校、蘭越町立蘭越中学校、北海道蘭越高等学校、蘭越保育所、北海愛星学園、昆布保育所、【二セコ町】二セコ町幼児センター、二セコ町立二セコ小学校、二セコ町立近藤小学校、二セコ町立二セコ中学校、二セコ町立北海道二セコ高等学校、北海道インターナショナルスクール二セコ校、【倶知安町】倶知安

幼稚園、倶知安藤幼稚園、倶知安めぐみ幼稚園、倶知安町立倶知安小学校、倶知安町立西小学校、倶知安町立西小学校樺山分校、倶知安町立北陽小学校、倶知安町立東小学校、倶知安町立倶知安中学校、北海道倶知安高等学校、北海道倶知安農業高校、くっちゃん保育所ぬくぬく、リトル・ナーサリー・スクールCLAIR、なかよし子供館、児童チャレンジサポートさやえんどう、羊蹄山ろく発達支援センター、倶知安町立北児童館、倶知安町立南児童館、【積丹町】積丹町立美国小学校、積丹町立日司小学校、積丹町立野塚小学校、積丹町立余別小学校、積丹町立美国中学校、積丹町立びくに保育所、みなと保育所、【古平町】古平町立古平小学校、古平町立古平中学校、認定こども園ふるびら幼児センターみらい、児童デイ多機能型事業所ひまわりくらぶ、【仁木町】仁木町立銀山小学校、仁木町立仁木小学校、仁木町立銀山中学校、仁木町立仁木中学校、北海道芸術高等学校仁木本校、にき保育園、櫻ヶ丘学園、大江へき地保育所、銀山へき地保育所、【余市町】余市町立登小学校、余市町立黒川小学校、余市町立大川小学校、余市町立沢町小学校、余市町立東中学校、余市町立旭中学校、余市町立西中学校、北海道余市養護学校、北海道余市紅志高等学校、北星学園余市高等学校、学校法人北海道キリスト教学園リタ幼稚園、北後志母子通園センター、余市町立中央保育所、余市町立大川保育所、(福)徳風会ほうりゅうじ保育園、黒川児童館、地域小規模児童養護施設さくら、【赤井川村】赤井川村立赤井川小学校、赤井川村立赤井川中学校、赤井川村立赤井川へき地保育所

(15) 病院・社会福祉施設 … <114>

【泊村】泊村養護老人ホームむつみ荘、泊村特別養護老人ホームむつみ荘、【共和町】地域活動支援センター前田の家、共和町いきいきセンター、共和町特別養護老人ホームみのりの里共和、デイサービスセンターみのりの里共和、【岩内町】医療法人岩内大浜医院、岩内あけぼの学園、ベーカーリーサンライズ、介護老人福祉施設岩内ふれ愛の郷、介護老人保健施設コミュニティホーム岩内、岩内町デイサービスセンター、グループホーム「そよかぜ」岩内、介護付有料老人ホーム七福神恵比寿館、【神恵内村】神恵内村立神恵内診療所、神恵内村高齢者グループホーム「かもめの家」、神恵内村老人福祉寮「生き生きホーム998」、神恵内村高齢者共同生活支援施設「友遊館」、神恵内ハイツ998、創生会デイサービスセンター、【寿都町】寿都町立寿都診療所、歌棄慈光園、ワークランド歌棄、はまなす寮、寿都しおさい学園、寿都浄恩学園、寿都寿海荘、寿都デイサービスセンター、【蘭越町】医療法人社団静和会昆布温泉病院、蘭越診療所、蘭越町立昆布診療所、特別養護老人ホーム一灯園、高齢者グループホームらんこし、蘭越町通所介護事業所こんぶ、蘭越町通所介護事業所、高齢者生活福祉センターこんぶ、高齢者生活福祉センターめな、【ニセコ町】医療法人ニセコ医院、特定非営利活動法人ニセコ生活の家、特別養護老人ホームニセコハイツ、(福)ニセコ福祉会ニセコ町デイサービスセンター、(福)ニセコ福祉会ニセコ町グループホームきら里、【倶知安町】障がい者就労支援施設羊蹄セルブ、いきるよろこび「うたり」、人と人をつなぐ陽だまり、グループホームそら、グループホームかぜ、グループホームゆめ、福祉ホーム羊蹄、共同生活援助事業あゆむ、障がい者就労支援事業所ワークショップようてい、グループホームよろこび(グループホームえがお、グループホームここに、グループホームふじ、グループホームしずく、グループホームつばさ)、ワークステーション輝、夢のたくみ、羊蹄ハイツ、デイサービスセンター羊蹄ハイツ、介護老人保健施設麓華苑、グループホーム羊蹄、認知症対応型共同生活介護縁、認知症対応型共同生活介護絆、デイサービスろっかえん、倶知安町老人デイサービスセンター、リハビリ特化型サービスカラダラボ、【積丹町】積丹町立国民健康保険診療所、積丹町エイジングステーションやすらぎ、【古平町】共働の家、みっくすベジタ、きょうどう、地域生活総合支援センターいこいの家、若者宿、つどい、古平町高齢者生活支援センター元気プラザ、古平町デイサービスセンター、夕凧、朝凧、デイサービスセンターのどか、グットケア、ほほえみくらす、古平町立診療所海のまちクリニック、【仁木町】医療法人社団森内科胃腸科医院、(福)後志報恩会銀山学園、(福)後志報恩会大江学園、(福)後志報恩会えんれいそう、(福)後志報恩会陽だまり、(福)後志報恩会ふきのとう、あんごの森「銀山」、回復の森「銀山」、(福)仁木福祉会グループホーム仁木やすらぎの里、(福)仁木福祉会デイサービス仁木やすらぎの里、(福)仁木福祉会仁木長寿園、【余市町】余市幸住学園、余市豊浜学園、社会福祉法人恵盛会希望の家余市作業所、サポートセンターたね、介護老人保健施設よいち、グループホームポランの家、デイサービスまごころ、グループホーム夢、リハビリ特化型デイサービスカラダラボ余市、デイサービスオレンジ、養護老人ホームかるな和順、グループホーム美優さくらんぼ、勤医協有料老人ホームこれの木、(福)よい

ち福祉会フルーツ・シャトーよいち、介護療養型老人保健施設なかじま、中島内科、【赤井川村】グループホームあまらんす、グループホームあまらんす2号館、赤井川村デイサービスセンター、【黒松内町】社会福祉法人黒松内つくし園本部、湯の里・黒松内、【札幌市】社会福祉法人北翔会札幌すぎな園、社会福祉法人ノマド福祉会特別養護老人ホームはっさむはる、【北広島市】社会福祉法人北海長正会北広島リハビリセンター

(16) その他機関 … <76>

【泊村】泊村社会福祉協議会、泊村商工会、平安荘、【共和町】共和町農業開発センター、共和町学校給食センター、西村計雄記念美術館、共和町かかし古里館、共和町社会福祉協議会、共和町商工会、ワイス温泉、【岩内町】岩内地域人材開発センター、(株)いわない高原ホテル、ホテルグリーンパークいわない、いわない温泉高島旅館、いわない温泉おかえりなさい、ホテルいろう、岩内マリンホテル、ホテルENVY、ホテルENVY(新館)、岩内町老人福祉センター、働く婦人の家、岩内商工会議所、【神恵内村】神恵内村商工会、旅館恵比須屋、民宿きのえ荘、【寿都町】(株)寿都振興公社、港前庵、ペンションMellow、【蘭越町】蘭越町交流促進センター幽泉閣、蘭越町交流促進センター雪秩父、【ニセコ町】ニセコ町社会福祉協議会、(株)ニセコリゾート観光協会(ラジオニセコ)、ヒルトンニセコビレッジ、ニセコアンヌプリ温泉湯心亭、ワン・ニセコ・リゾートタワーズ、ホテル甘露の森、いこいの湯宿いろは、ニセコノーザンリゾート・アンヌプリ、ザ・ロッジ・モイワ834、鶴雅別荘 奎の抄、ニセコグランドホテル、ザ・グリーンリーフ・ニセコビレッジ、ニセコ町赤十字奉仕団、【倶知安町】倶知安観光協会、ホテルニセコアルペン、ニセココテージアカゲラ、ペンションアリス、ペンション浦中、ペンショングランパピ、ロッジコロポックル、ニセコパークホテル、白雲荘、ペンションまろうど、【古平町】古平町商工会、日本海ふるびら温泉しおかぜ、古平家族旅行村、(福)古平町社会福祉協議会、(福)古平福祉会、【仁木町】(福)仁木町社会福祉協議会、仁木町商工会、イナオ観光(株)、(有)五共ハイヤー、NPO法人銀山さわやか福祉NPO、仁木町観光協会、【余市町】一般社団法人余市観光協会、ニッカウヰスキー(株)北海道工場、ゲストハウス余市、余市商工会議所、かくと徳島屋旅館、【赤井川村】(株)キロロアソシエイツ、【札幌市】アパホテル&リゾート(札幌)、(公社)北海道国際交流・協力総合センター、(公財)札幌国際プラザ、【留寿都村】ルスツリゾート、【洞爺湖町】洞爺湖文化センター、【登別市】登別市総合体育館

7 訓練想定

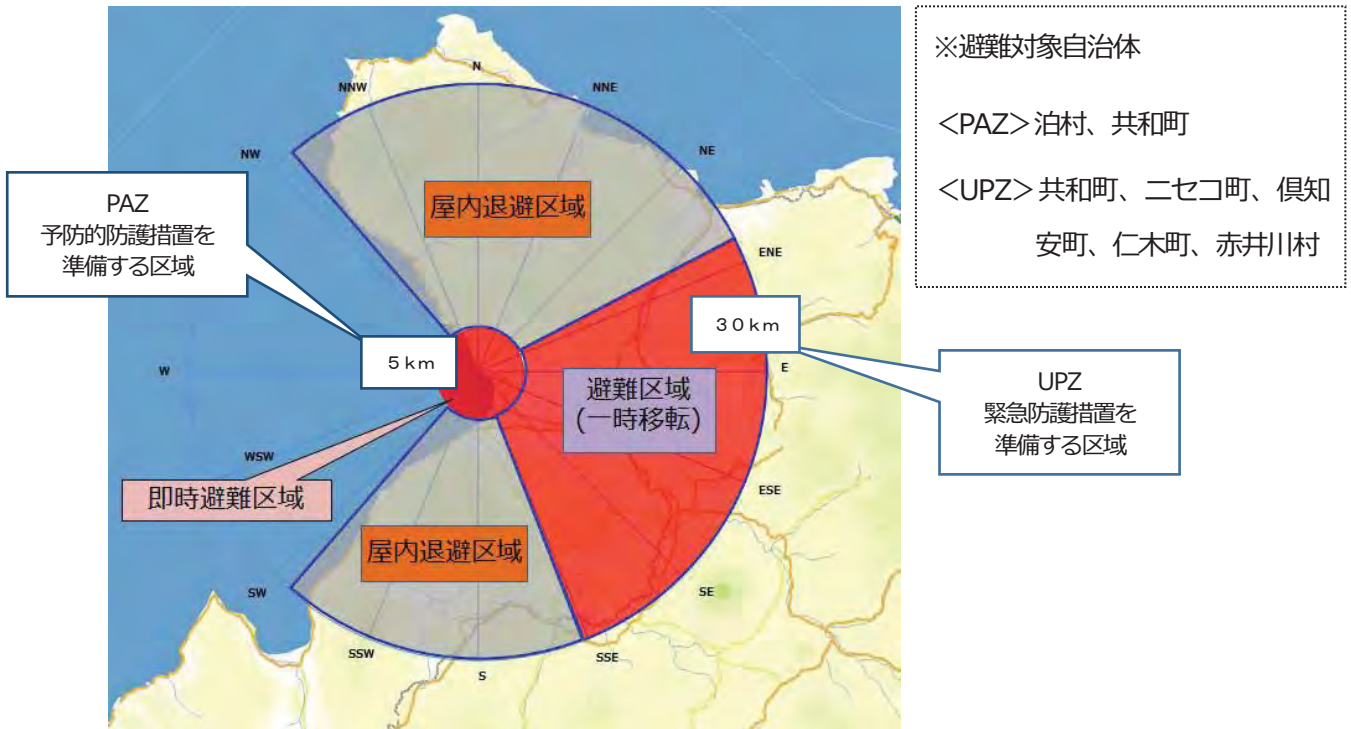
後志地方に台風が接近し上陸する中、北海道電力株式会社泊発電所3号機において、定格熱出力一定運転中、原子炉冷却材漏えいが発生し、原子炉が自動停止に至る。

その後、非常用炉心冷却設備が作動するが、何らかの設備故障等により同設備による注水が不能となり、全面緊急事態となる。さらに事態が進展し、炉心損傷に至り、放射性物質が放出され、その影響が発電所周辺地域に及ぶ。

時刻	事態	事故	要請・指示	対象自治体
訓練前日 ～	※後志地方に、大型台風が上陸			
4:45	(大雨・暴風警報発表中)	泊発電所3号機の定格熱出力一定運転中(1・2号機は停止中)に、冷却材漏えいの確認。		
5:00	EAL(AL)〔警戒事態〕発生連絡	一次冷却材の漏えい量が増加し、原子炉自動停止。その後、原子炉圧力低下による非常用炉心冷却設備の作動。	PAZ要避難者の避難準備	PAZ(泊村・共和町)
6:00	EAL(SE)〔施設敷地緊急事態〕原災法第10条事象の発生通報	何らかの設備故障等により、非常用炉心冷却設備による原子炉への注水が一部不能。	PAZ要避難者の避難 PAZ住民の避難準備 ※大雨・暴風警報発表中は、屋内退避を継続し、避難は天候や避難経路等を確認の上、実施する。	PAZ(泊村・共和町)
※想定				
9:00	訓練開始			
9:20	※大雨・暴風警報解除		PAZ要避難者の避難開始	PAZ(泊村・共和町)
10:00	EAL(GE)〔全面緊急事態〕原災法第15条事象の発生通報 →原子力緊急事態宣言発出	さらなる設備故障により、非常用炉心冷却設備による注水不能。	PAZ住民の避難 UPZ住民の屋内退避	PAZ(泊村・共和町) UPZ(関係13町村)
11:15	炉心損傷(放射性物質放出)の連絡	代替設備による原子炉への注水ができず炉心損傷となり、放射性物質が放出。		
11:20時点で時間をスキップ(放射性物質放出からOIL2超過区域の特定まで) 〈格納容器自然対流冷却により圧力が低下し、放射性物質の放出停止〉				
11:30			UPZ一部区域(OIL2超過区域)住民の一時移転	UPZ(共和町、二セコ町、倶知安町、仁木町、赤井川村)
14:50	事態収束(原子炉への注水開始)の連絡	故障していた機器の復旧により、原子炉への注水を開始し、事態収束の方向。		
15:30	訓練終了			

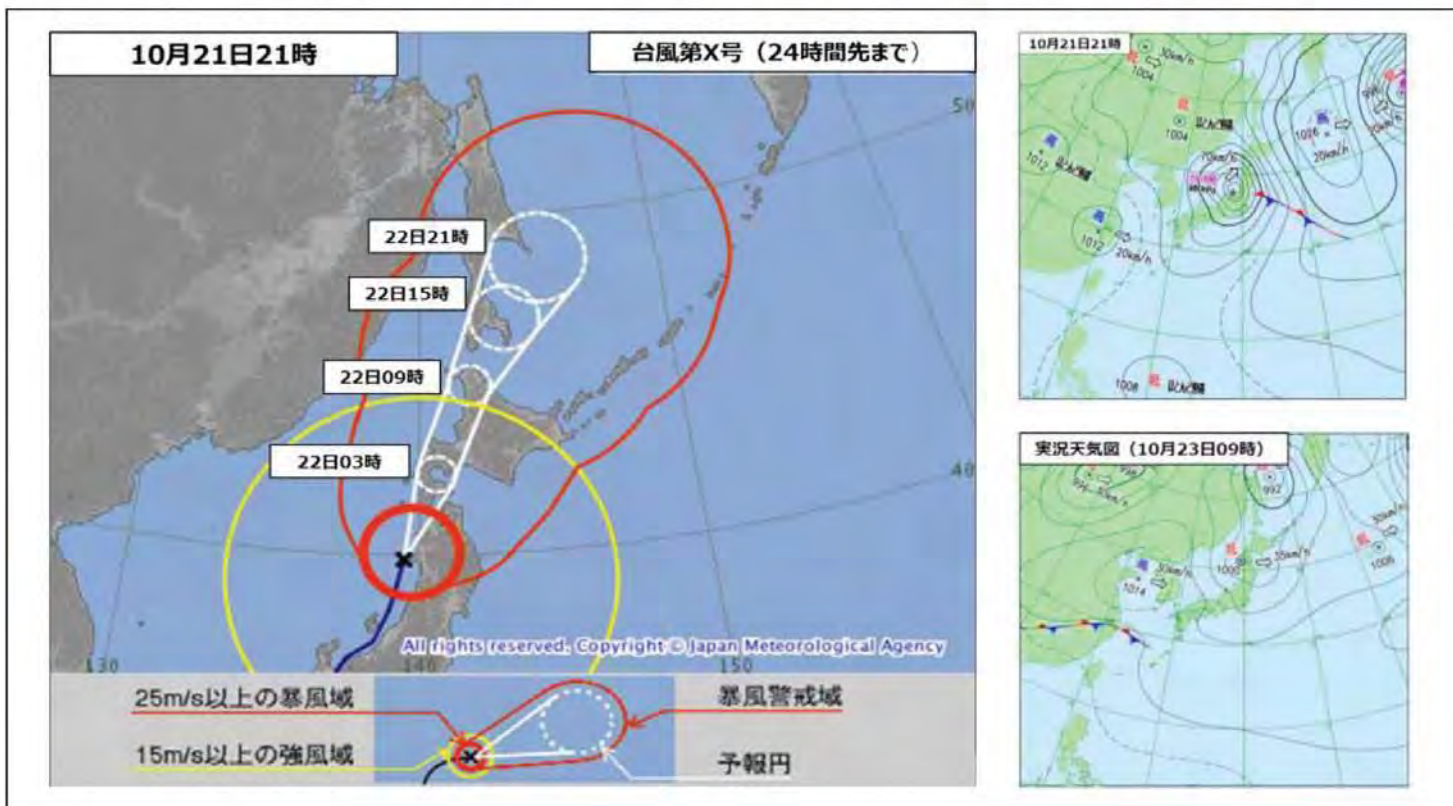
*原子力発電所では、事故発生に備え、何重もの安全装置が設置されています。今回は住民の避難訓練等を実施するため、何らかの理由でこれら安全装置が故障等により正常に作動しない事態を想定しました。

<防護対策区域>



<被害想定>

10/21 台風により八雲町、今金町で土砂災害被害発生、共和町、二セコ町で土砂崩れにより道路通行止め発生
10/23 前線の影響により、せたな町(後志利別川)、長万部町(長万部川)、仁木町(余市川)で洪水発生



8 訓練内容

(1) 重点活動項目

次に掲げる事項を重点活動項目として、災害対策本部の設置運営訓練及び住民避難訓練などの要素訓練を組み合わせた総合訓練を実施した。

<重点活動項目>

- ◆緊急事態応急対策等拠点施設（OFC）運営訓練
 - ・各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況を収集・整理
 - ・スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有
 - ・複合災害を想定した防災関係機関との対応の調整
- ◆住民避難訓練
 - ・バス避難のための集合場所の開設
 - ・避難受入先自治体の協力による一時滞在場所の設置・運営
 - ・自宅での屋内退避が困難な場合を想定した屋内退避・避難
 - ・孤立集落の発生を想定した多様な手段による避難
 - ・観光客（外国人を含む）に対する情報提供や避難誘導
- ◆緊急時環境放射線モニタリング訓練
 - ・EMCを拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携
 - ・緊急時モニタリング実施内容の検討（実施計画案の修正）、指示及び情報伝達
- ◆原子力災害医療活動訓練
 - ・安定ヨウ素剤の緊急配布
 - ・避難圏域時検査場所の開設と運営

(2) 各要素訓練

訓練項目ごとに主要活動項目を設定し、その活動に必要な対応動作や手順の確認を行った。

ア 災害対策本部等設置運営訓練

道及び泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村（以下「関係13町村」という。）は、災害対策本部を設置し、事態の推移に応じて本部員会議やTV会議を開催し、本部内や防災関係機関と情報共有を図った。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 北海道教育委員会 北海道警察本部	<本庁> <input type="checkbox"/> 道災害対策本部を設置・運営 <input type="checkbox"/> 道本部員会議を開催 <input type="checkbox"/> TV会議を開催 [道庁-OFC-関係13町村] <OFC> <input type="checkbox"/> 道現地災害対策本部を設置・運営
関 係 1 3 町 村	<input type="checkbox"/> 各町村に災害対策本部を設置・運営 <input type="checkbox"/> TV会議を開催 [道庁-OFC-関係13町村]
原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 本店及び泊発電所に原子力災害対策本部を設置・運営



<道災害対策本部>



<泊村災害対策本部>



<共和町災害対策本部>

イ 緊急事態応急対策拠点施設（OFC）運営訓練

OFCに、国、道、関係13町村及び防災関係機関から、あらかじめ定められた要員が参集し、体制を構築して、事故の状況や防災関係機関の対応状況を把握しながら、必要な情報共有と複合災害（大雨・暴風）における防護措置の実施方針の調整・確認を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
内 閣 府 原 子 力 規 制 庁 泊 原 子 力 規 制 事 務 所 北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況を収集・整理 <input type="checkbox"/> スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有 <input type="checkbox"/> 複合災害を想定した防災関係機関との対応の調整 <input type="checkbox"/> 現地事故対策連絡会議（EAL(SE)段階）や原子力災害合同対策協議会（EAL(GE)段階）を開催 <input type="checkbox"/> TV会議を開催〔ERC（官邸）－道庁－OFC－関係13町村〕し、防護措置の実施方針を確認・調整 <input type="checkbox"/> ヘリからの映像伝送による情報収集



<合同対策協議会全体会議>



<機能班の活動>



<TV会議による情報共有>

ウ 緊急時通信連絡訓練

各種通信手段を用いた事故状況や対応状況等に関する防災関係機関相互の通報連絡及び関係機関への情報伝達を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
全 機 関	<input type="checkbox"/> 電話及びFAX（一般回線や専用回線）、防災行政無線を用いた防災関係機関相互の通報連絡 <input type="checkbox"/> 関係13町村の要配慮者施設（学校・医療機関・社会福祉施設等）や宿泊施設に対する情報伝達 <input type="checkbox"/> 避難先自治体等への事故状況の伝達や避難受入要請



<情報伝達内容の整理>

エ 緊急時環境放射線モニタリング訓練

国の統括のもと、OFC内に緊急時モニタリングセンター（EMC）を設置し、国、道、関係13町村、原子力事業者、関係指定公共機関と連携して、緊急時における環境放射線のモニタリング活動をした。

機 関	主 要 活 動 項 目
原子力規制庁 泊原子力規制事務所 北海道 関係13町村 原子力事業者 指定公共機関	<input type="checkbox"/> EMCを拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング実施内容の検討（実施計画案の修正）、指示及び情報伝達 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング情報共有システム等によるモニタリング情報の収集、整理、確認及び報告 <input type="checkbox"/> OFC放射線班等への緊急時モニタリング結果の提供及び情報共有 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング要員等の被ばく管理



<EMCの活動>



<可搬型モニタリングポストの設置>



<非常用発電機による電源の確保>

オ 広報訓練

関係13町村の住民等に対し、防災行政無線や広報車等による広報のほか、緊急速報メールなど多様な手段を活用した広報を実施するとともに、事故状況や防護措置等に関する報道提供資料を作成した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北海道 関係13町村 防災関係機関	<input type="checkbox"/> 防災行政無線や広報車、コミュニティFMなどによる住民広報 <input type="checkbox"/> 緊急速報メールを活用し、多言語による避難指示等を配信 <input type="checkbox"/> 道ホームページを利用した情報発信



<広報車による広報>



<コミュニティFMによる広報>



<OFC 広報班の活動>

カ 住民避難訓練

EAL、OILの判断基準を基本として、様々な事態（大雨・暴風との複合災害）を想定し、防災関係機関と連携しながら、各町村の避難計画を反映して取りまとめた防護措置の実施方針に基づき、住民等の安全確保を優先して屋内避難や避難等の防護措置を段階的に実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関	<input type="checkbox"/> バス避難のための集合場所の開設（レイアウト図の掲示） <input type="checkbox"/> バス等を利用した避難（避難経路上に休憩施設の開設） <input type="checkbox"/> 小中学校、高等学校などによる屋内退避・避難 <input type="checkbox"/> 要配慮者（社会福祉施設入所者など）の屋内退避・避難 <input type="checkbox"/> 放射線防護施設における屋内退避・出入管理 <input type="checkbox"/> 避難受入自治体の協力による一時滞在場所の設置・運営 <input type="checkbox"/> 大雨・暴風により自宅での屋内退避が困難となった場合を想定した屋内退避・避難 <input type="checkbox"/> 孤立集落の発生を想定した陸路・空路・海路を用いた避難 <input type="checkbox"/> 観光客（外国人を含む）に対する情報提供や避難誘導 <input type="checkbox"/> 避難経路確保のための道路啓開 <input type="checkbox"/> 渋滞予測箇所等における警察官による迂回路誘導や交通整理 <input type="checkbox"/> バス運転手等民間事業者の防護対策

●参加住民数 10,777人（避難748人、屋内退避10,029人）

【避難指示区域】

※（ ）内は屋内退避者

区分	町村名	避難者数		避難方法
PAZ	泊 村	169	(95)	バス6台、福祉車両3台、普通車両6台
	共和町	114	(62)	バス5台、福祉車両1台
UPZ	共和町	11	(501)	バス1台
	二セコ町	48	(487)	バス2台、普通車両1台
	俱知安町	90	(2,434)	バス4台、普通車両1台
	仁木町	74	(333)	バス4台、福祉車両1台、装甲車2台、ヘリコプター1機、巡視艇1隻
	赤井川村	112	(105)	バス4台
合 計		618	(4,017)	バス26台、福祉車両5台、普通車両8台、装甲車2台、ヘリコプター1機、巡視艇1隻

【その他区域】

町村名	避難者数		避難方法
UPZ町村合計	130	(6,012)	泊村、岩内町、寿都町、余市町は独自訓練として避難を実施（バス7台、福祉車両3台、普通車両2台）

<複合災害を想定した避難>

- ・台風による避難指示に伴う避難所の開設及び屋内退避（二セコ町）
- ・実動機関による孤立集落からの陸路、空路、海路による住民避難の支援（仁木町）
- ・避難経路確保のための道路啓開（共和町）

<要配慮者対策>

- ・在宅要配慮者の放射線防護施設への屋内退避（4施設14人）
- ・避難訓練の実施（学校5校303人、福祉施設12施設111人）

<観光客対策>

- ・外国人観光客等の宿泊施設からの避難誘導（二セコ町、俱知安町）